

新市名称候補一覧表

(五十音順)

整理番号	よみがな 名 称	選 定 理 由
1	さ つ ま し さ つ ま 市	<ul style="list-style-type: none"> ・薩摩地方に位置しており、「薩摩」をひらがなで表記することで、新鮮で優しく、やわらかさを感じさせる。 ・名称が書きやすく、覚えやすい。
2	さ つ ま し 薩 摩 市	<ul style="list-style-type: none"> ・古くから鹿児島を代表する地名であり、全国的にも知名度の高い、新市の名称となる。 ・この地方が奈良・平安・江戸時代、薩摩国と呼ばれており、歴史と伝統のある名称であり、力強いイメージがある。
3	さつませんだいし さつま川内市	<ul style="list-style-type: none"> ・新市の位置が理解しやすく、知名度的にも全国にアピールでき、また、「薩摩」をひらがなで表記することで、新鮮でやわらかさを感じさせる。 ・薩摩郡の4町4村と川内市の歴史と伝統をあらわし、覚えやすく、わかりやすい名称である。
4	さつませんだいし 薩摩川内市	<ul style="list-style-type: none"> ・新市の位置が理解しやすく、知名度的にも全国にアピールでき、また、「薩摩」の漢字表記は、力強いイメージがある。 ・薩摩郡の4町4村と川内市の歴史と伝統をあらわし、覚えやすく、わかりやすい名称である。
5	せんさつし 川 薩 市	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで、県下一周駅伝大会や県民体育大会、広域行政等で使用されており、慣れ親しまれてきた名称である。 ・川内市と薩摩郡(4町4村)の各1文字が入り、わかりやすく、この地域の特徴を表している。

・新市名称決定方法について（平成15年9月25日開催第6回協議会議案第16号承認済）

- (1) 委員は、選定基準に基づいて、提出された一覧表から20点程度絞込みを行う。
各委員は絞り込んだ20点程度を10/7までに協議会事務局に提出。事務局はさらに提出された候補を、上位30点程度に集計する。
- (2) 第5回小委員会(10/14)に事務局が(1)で集計した30点程度を提出。
30点程度を元に、20点程度まで絞り込む。
- (3) 小委員会で絞り込んだ20点程度を第8回協議会10/24で、中間報告を行う。
- (4) 第6回小委員会(11/4)・第7回小委員会(11/17)20点程度を5点程度まで絞り込む。
5点程度について、作品ごとに選定委員会としての「選定理由」を検討し、報告書を作る。



小委員会
協議会

- (5) 第10回協議会(11/26)へ「新市の名称について」として、5点程度を提案する。
協議会で5点程度について、意見交換と協議を行う。
- (6) 第12回協議会(12/24)で新市名称候補1点を決定。
- (7) 平成16年 3月 新市名称の議案
- (8) 平成16年10月12日 合併施行

第12回協議会(12/24)での新市名称候補1点を決定する方法

- ・第10回協議会(11/26)で提案された5点程度を持ち帰り、各市町村で協議する。
- ・協議された結果を第12回協議会(12/24)で報告する。9市町村が同じ名称なら、承認・決定する。
- ・1市町村でも違う名称が報告されたら協議し、その後、挙手による表決で決定する。
- ・挙手をする場合、複数案について1回のみ挙手を行い、過半数をとった候補名に決定する。
但し、過半数が獲得されなければ上位2候補で決戦挙手を行う。
(挙手を行う場合、新市名称絞込みに限り、会長も挙手権を持つこととする。)